

和霊石地蔵を日本考古学協会が再調査に来島



3月16日(木)、日本考古学協会の関西支部支部長山川 均、理事 馬淵和雄の両氏が和霊石地蔵の現状の再調査に来島されました。地蔵の保存に向けて日本考古学協会の有志の方が保存会を組織し、ホームページを立ち上げていただけたとのこと。募金活動・署名活動を一緒にやりましょうとのこと。また、和霊石地蔵のシンポジウムを開催し、幅広くPRし、保存に向けた活動を行政に先駆けて推進する計画です。皆様のご協力をお願いします。左記のイラストは山川先生の知人がデザインしてくれたそうでPRに活用してくださいとのこと。

三原市の29年度予算に和霊石地蔵の保存対策として調査費56万円を付けて頂いています。今後更に、保存に向けた対策が進展することが期待されます。

(和霊石保存会 山本)

道祖神祭開催



佐木島に新たな名所を創ろうと昨年より有志で整備を進めて来た、志呂谷花見園道祖神の丘で4月8日(土)、第一回道祖神祭が行われました。前日からの雨も上がり講中及び花見客で賑わうなか山田宮司様を祭司にお迎えして神事を催行しました。続いて、昨年の15体に加えてこのたび設置された10体の双体道祖神さんに、入魂の祭礼が行われました。男女和合をテーマにした唯一無二の聖地新名所道祖神の丘にみなさんのお参りをお待ちしております。

道祖神の会

里山ワークショップ開催



3月19日(日)ベストセラー「里山資本主義」の著者で日本各地の市町村を実地調査し地域特性を生かした活性化を提言する地域活性アドバイザーの藻谷浩介さんに佐木島へお越し頂き、佐木島を愛するボランティアガイドと島のウォーキングツアーの後セミナーセンターで島外からの参加者と島民約50名が参加。三原を中心とした広島県全域の今後の人口動態推移を数値をあげて講演してもらい、それを踏まえ島の未来をどのように描いてゆくかを参加者でディスカッションしました。ワークショップ終了後には懇親会も開催し意見交換する中で島の人たちも今まで気付かなかった新たな島の魅力を発見。島外の人たちの積極的な関わりにより島が楽しく心豊かに暮らせる場所へと変わってゆくことが人を呼び込み、島の未来を創り出すという事を感じてもらえる一日になったのではないのでしょうか。

(地域おこし協力隊 田中)

お知らせ ふるさと館から

今年もゴールデンウィークに5月人形展・生け花展を開催します。多くの方のご来館をお待ちしています。

期間 : 5月3日(水) ~ 5月5日(金)
午前中